

大会開催に向けたガイドライン

長野県小学生バレーボール連盟

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、大会の開催に向けて、選手、指導者、保護者や運営スタッフなど、関わる全ての皆さんが安心して参加し、楽しんでもらうために、どんな感染拡大防止策をとるべきか対応策をまとめました。

これらの対応策が整わない場合は、大会の中止又は延期をお願いします。

大会を開催するにあたっては、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況や政府、JVA、長野県バレーボール協会、日本小学生バレーボール連盟から発せられる情報を踏まえ、十分に熟考し判断してください。

なお、対応策が十分に行えた場合にも、その時点での流行状況に合わせて、急な中止又は延期を行えるような準備をお願いします。

基本的な考え方

いかなる対応策を講じたとしても大会を開催することで、選手や指導者、応援の方々、運営スタッフに感染リスクを高める場面は考えられます。

感染拡大防止には、個人防衛、集団防衛、社会防衛の3つの見地から考える必要があります。何よりも重要なのは、発熱・咳・倦怠感などの症状を認めたら、選手・指導者・運営スタッフは休む勇気を持つこと、応援者にとっては会場にはいかないということを浸透させることが重要です。

感染予防には、接触感染を防ぐための石鹸による手洗いや手指消毒、飛沫感染を防ぐためのマスクの着用などの感染症対策や健康管理を心がけることのほか、「3つの密」（密閉・密集・密接）を避けることが重要です。

主催者として対応等すべき事項

1 大会会場・競技備品類

- (1) 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。具体的には、試合間、セット間など定期的に、ドア等を開放して外気を取り入れる等の換気を行う。また、空調（換気）設備なども活用する。
- (2) 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換（両チームの合計点が5の倍数に達したとき）しながら使用する。
- (3) 線審のフラッグ、得点板、モップ等試合で使用する備品類はこまめな消毒を行う
- (4) 洗面所（トイレ）、更衣室、休憩・待機スペース等の共用場所は感染リスクが比較的高いと考えられるため、共有物など参加者が触れると考えられる物・場所は、こまめに消毒する。
- (5) アルコール等の手指消毒剤を用意し、会場の出入り口等へ配置すること。
- (6) 大会本部等へは、関係者（運営スタッフ）以外は立ち入ることのないようにする。
- (7) 入退時の出入り口を可能な限り分離し、人の流れの一方通行化等、人と人が交錯する機会を極力減少させる等配慮する。
- (8) 予め参加チーム毎の待機場所を指定する。（観客席またはフロアー内などに）

2 運営スタッフの体調管理

運営に関わる全てのスタッフの検温を実施するとともに、参加者同様入館時記入票を提出する。

運営リストにない来場者などを正確に把握し、体調確認を行う。

3 当日の受付時の留意事項

受付スタッフおよび参加者が密にならないようにする。

- (1) 人と対面するためマスクを着用し、アクリル板等で遮蔽するか、フェイスシールドなどを活用し、飛沫感染を予防する。
- (2) 風邪（発熱・咳等）症状のある方は入場できないことを呼びかける。（状況によって、非接触型体温計などで測定する）
- (3) 参加者が距離を置いて並べるように目印等を設置すること。

4 式典等、運営の簡略化

開・閉会式などは極力実施しない。表彰式はコート表彰とする。

ただし、開・閉会式など式典を行う場合は、参加者が密にならないようにし、

内容を簡略化するなど工夫をする。

5 競技の注意事項

- (1) 1会場1コートとし、4チーム以内で行う
- (2) 体育館内（アリーナ内）は、試合を行うチーム、審判団（主審・副審、記録員、ラインジャッジ、得点係）、競技運営スタッフのみとする。
- (3) セットごとに換気など適切感染防止対策を実施する。
- (4) ベンチでは、離れて座る。ウォームアップエリアでも密に気を付けて私語は慎む（必要に応じてマスク着用）
- (5) 試合終了後、ベンチ等の消毒を行い、消毒終了後まで次の試合チームは、体育館（アリーナ）に入れない。

6 審判の注意事項

(1) 主・副審

- ア 試合前後に監督・選手との握手は行わない。また、トスは、選手との距離を保ち、短時間ですませる。
- イ スコアラー、他の役員及びチームメンバーとも十分距離を保ち、会話をする場合は、大きな声や対面にならないように配慮する。
- ウ 主催者の意向で、電子ホイッスル等で試合を進めてもよい。
- エ 笛を使用する場合は、会場や環境に合わせた音の大きさを吹笛を短くするように心がける。その際、試合の前後および試合中（タイムアウト・セット間等）に除菌シート等を活用し洗浄・消毒等を行う。

(2) スコアラー

- ア 会話をすることがあるので、マスクまたはフェイスシールドを着用する。また、大きな声や対面での会話は控える。
- イ ボールペン等は、共用使用をできるだけ避ける。サイン採取時は、専用のペンや消毒等工夫をする。

(3) ラインジャッジ

- ア 会話をすることがないので、マスクの着用は特に必要としない。（体を動かすことがあるため、熱中症予防の観点から）
- イ フラッグは、試合前後に消毒を行う。

(4) その他

- ア ベンチや記録席などの試合会場のレイアウトは、密な環境を避けるために工夫をする。
- イ 審判の感染対策責任者は、控室等に遵守すべき事項を掲示するなど、感染拡大防止の環境整備を行う。

7 その他

- (1) 主催者は、感染対策とともに熱中症のリスクも備えること。特に、マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分補給を促すことを周知する。
- (2) 主催者は、感染者発生時における追跡・調査を可能とするために備え、提出された書面（大会参加記入票、入館時記入票）について、個人情報の取り扱いに十分注意し適切な管理を行い、1か月程度を目途に廃棄する。
- (3) 厚生労働省が推奨する接触確認アプリ（COCOA）の活用を促す。
- (4) 会場毎に管理者を選任する。管理者は感染症対策が遵守されているかを監視し、必要に応じて場内放送や口頭で注意するなどの指導を行う。またパトロールなどを実施する場合は腕章・ビブスなどを着用する。

別紙 大会時の遵守事項（新型コロナウイルス感染拡大の防止対策）

1 参加者が遵守すべき事項

- (1) 会場（体育館）の入場は、別紙2「大会参加記入表」に必要事項を記入した次の者とする。
 - ア スタッフ（MRS登録者で、本大会の監督、コーチ、マネージャー）
 - イ 選手（MRS登録者で、本大会に申し込みをした選手）
 - ウ 1チーム当たり選手の登録数以内の応援者（主催者発行のカードを見えやすい場所に携帯すること。主催者発行のカードは、代表者会議でチームに渡す。）
- ※① 上記ア～ウ及び大会スタッフ以外は、体育館には入場できない。また、別紙2「大会参加記入票」は代表者会議開始時に提出する。
- ※② 会場に入館の際、別紙3「入館時記入票」を提出し、入館時記入票は、大会前2週間における事項の有無を記入することになっており、当日朝の体温を各自測り、平熱を超える発熱になっていないか確認すること。（当日朝の体温は、別紙1に記入する）
- ※③ 会場の入り口で大会スタッフによる検温（非接触式）を実施するので協力すること。（検温で37.5度以上は入館できない）
- (2) 大会前2週間前において、次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
 - ウ 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等
 - エ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - オ 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方がいる場合
 - カ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) マスクを持参し、着用すること（競技を行っていない際、会話をする際にはマスクを着用すること）
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- (5) 他の参加者、大会スタッフ等との距離を確保（できるだけ2m以上）すること。また、チームごとに、控え場所（荷物や待機するスペース）を決めるので、極力決められた控え場所にいること。（チームごとに消毒液等を用意し、使用前・後にチーム控え場所の消毒を行う。）
- (6) 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。
- (7) 感染拡大防止のために、主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- (8) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者にも速やかに報告すること。（報告先：〇〇〇 〇〇〇〇 Tel 〇〇〇〇〇〇）

2 試合中に遵守すべき事項

- (1) 試合前などの円陣やベンチでの集合時において、できるだけ密集・接触を避ける
- (2) 競技中のハイタッチは、腕のタッチにとどめる
- (3) ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える
- (4) タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用禁止
- (5) コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつ、試合前後の握手に関しては、一礼などで代える

※ 本内容を遵守できない者及びチームには大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

チーム責任者は、必ず本内容を参加者（応援者含む）に周知すること。